

令和3年度富山県国民健康保険特別会計決算(見込)について

| ■ 歳 入 | 予算額 (2月補正後) | 決算額 | 構成比 | 差引額 | |
|-------------|----------------|----------------|---------------|---------------|---|
| | | | | | |
| ①前期高齢者交付金 | 340.0億円 | 340.0億円 | 37.6% | 0.0億円 | 前期高齢者(65～74歳)の医療費負担を保険者間で調整するための支払基金からの交付金 |
| ②国庫支出金 | 215.8億円 | 226.2億円 | 25.0% | 10.4億円 | |
| 定率国庫負担金 | (143.2億円) | (150.3億円) | 16.6% | 7.1億円 | 保険給付費等に要した費用の32%を国が負担 |
| 調整交付金 | (52.2億円) | (55.6億円) | 6.2% | 3.4億円 | 都道府県間の財政不均衡等を調整する交付金 |
| 保険者努力支援交付金 | (12.6億円) | (12.6億円) | 1.4% | 0.0億円 | 医療費適正化や収納率向上等の保険者努力に対する交付金 |
| 高額医療費負担金 等 | (7.7億円) | (7.7億円) | 0.9% | 0.0億円 | 1件80万円以上の高額医療費の国負担分(1/4)等 |
| ③繰入金 | 48.1億円 | 48.1億円 | 5.3% | 0.0億円 | |
| 定率負担金 | (40.3億円) | (40.3億円) | 4.5% | 0.0億円 | 保険給付費等に要する費用の9%相当額を県が負担 |
| 高額医療費負担金 | (6.1億円) | (6.1億円) | 0.7% | 0.0億円 | 1件80万円以上の高額医療費の県負担分(1/4)等 |
| 特定検診等負担金 等 | (1.7億円) | (1.7億円) | 0.2% | 0.0億円 | 特定健診等に要する費用の県負担分(1/3) 等 |
| ④共同事業交付金 | 1.0億円 | 1.6億円 | 0.2% | 0.6億円 | 特別高額医療費共同事業(1件420万円超のレセプトの200万円超)に係る国保中央会からの交付金 |
| ⑤納付金 | 228.0億円 | 228.0億円 | 25.2% | 0.0億円 | 被保険者数：世帯数、所得能力、医療費水準に応じた市町村の負担 |
| ⑥繰越金 | 26.6億円 | 55.8億円 | 6.2% | 29.2億円 | H30, R1, R2決算剰余金 |
| ⑦その他 | 4.2億円 | 4.2億円 | 0.5% | 0.0億円 | 過年度精算による返還金、諸収入、財産収入 等 |
| 歳入合計 | 863.5億円 | 903.8億円 | 100.0% | 40.3億円 | ※端数処理のため、合計額と必ずしも一致しない |

| ■ 歳 出 | 予算額 (2月補正後) | 決算額 | 構成比 | 差引額 | |
|-------------|----------------|----------------|---------------|----------------|--|
| | | | | | |
| ①保険給付費等交付金 | 693.7億円 | 678.4億円 | 80.0% | -15.3億円 | |
| 普通交付金 | (674.6億円) | (659.3億円) | 77.8% | -15.3億円 | 市町村に交付する保険給付費等 |
| 特別交付金 | (19.1億円) | (19.1億円) | 2.3% | 0.0億円 | 市町村の個別事情に応じて交付 |
| ②後期高齢者支援金等 | 111.3億円 | 111.3億円 | 13.1% | 0.0億円 | 後期高齢者の医療費負担に係る支払基金への拠出 |
| ③前期高齢者納付金等 | 0.2億円 | 0.2億円 | 0.0% | 0.0億円 | 前期高齢者の医療費負担に係る支払基金への拠出 |
| ④介護納付金 | 36.8億円 | 36.8億円 | 4.3% | 0.0億円 | 国保の介護被保険者(40～64歳)の介護給付費に係る支払基金への拠出 |
| ⑤共同事業拠出金 | 0.9億円 | 0.9億円 | 0.1% | 0.0億円 | 特別高額医療費共同事業(1件420万円超のレセプトの200万円超)に係る国保中央会への拠出 |
| ⑥諸支出金(償還金) | 19.2億円 | 19.2億円 | 2.3% | 0.0億円 | 療養給付費等負担金償還金、療養給付費等交付金償還金、保険者努力支援交付金(事業費分)償還金、特定検診等負担金償還金 等 |
| ⑦保健事業 | 1.2億円 | 0.9億円 | 0.1% | -0.3億円 | 市町村国保における保健事業を支援 |
| ⑧その他 | 0.1億円 | 0.1億円 | 0.0% | 0.0億円 | 総務管理費、運営協議会費、病床転換支援金等、基金積立金 等 |
| 歳出合計 | 863.5億円 | 847.8億円 | 100.0% | -15.7億円 | (単年度黒字額)の主な要因 【歳入】+40.3億円(国庫負担金+7.1億円、 国庫補助金+3.4億円、繰越金+29.2億円) 【歳出】△15.7億円(普通交付金△15.3億円、保健事業△0.3億円) |

単年度収支: **56.0億円**

●歳入

- ・国庫支出金が見込みよりも約10.4億円(定率国庫負担金7.1億円、調整交付金3.4億円)多くなった。なお、定率国庫負担金は翌年度精算のため返還が生じる。(令和4年度予算において約11億円の返還見込)
- ・平成30年度～令和2年度の決算剰余金約29.3億円(令和4年度予算計上分、令和4年度精算分含む)を令和3年度の歳入として繰越した。

●歳出

- ・普通交付金は、新型コロナウイルス感染症の影響がない令和元年度を上回る執行率であったため、2月に増額補正を行ったが、年度後半の執行率に落ち着きが出たことで15億円の減となった。(当初予算額からは8.0億円の減)
- ・保健事業は、一部事業の見直しを行ったこと等により0.3億円の減となった。

●決算剰余金の取扱い

- ・令和3年度の決算剰余金は単年度収支で約56.0億円となり、令和4年度の特別会計の歳入として繰越している。
- ・この決算剰余金は、令和4年度に精算する令和3年度分の国庫支出金等の精算による返還、過年度分の一般会計繰入金の精算の財源とし、残額の1/2を財政安定化基金に積み立て、残りの1/2を翌々年度納付金減算へ活用する。

